

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日時 令和5年 11月

事業所名 Oasis+ぶらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・トイレの数が不足していると感じられたため、トイレの増設を予定している。 ・机などを移動して、活動するスペースをできるだけ広くとれるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・現在の職員数で支援ができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	5	・入口から室内に上がる所に5cm程の段差があるので、配慮が必要な利用者に対しては対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	・毎朝のミーティングで、その日の目標や注目点を話し合い、その結果を職員が共通理解するよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・年1回アンケートを実施し、結果を活かして業務改善に役立てている。 ・保護者との会話の中から要望等にも素早く対応していけるように心がけている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・新入社員が増えたので、改めて業務改善の見直し等、改善点を話し合っている。 ・いろいろな研修会にも参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・保護者のニーズは、送迎時の会話から分析した上で作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・職員全員で話し合い検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・運動、指先、調理、社会体験などバランスよく組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	・休日、長期休暇時は掃除や作業的なことも取り入れ、個別に課題を決めた活動も取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・利用者にあった内容の活動になるよう、個別活動も集団活動も作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎日ミーティングでを行い、その日の療育内容や支援を確認し、個別の対応なども細かく打ち合わせしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・送迎後、もしくは翌朝のミーティングで気付いた点を話し合い、改善していけるよう共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・日々の支援記録の書式を改善したり、行動記録を取るなど支援の改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・日々の支援の記録で計画に沿っての記録等を詳しく残すようにしている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・年間計画や行事予定を事前にもらっている。 ・予定変更や送迎時のトラブル等の発生の場合は、学校からも保護者に連絡を入れてもらう等して対応している。 ・学校送迎時にその日の様子を細かく聞き、支援の仕方など情報共有ができるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	・相談員を通じて情報を共有している。 ・スマイルブックを見せていただいている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	・今後、卒業される子がいた場合は提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	・現在は出来ていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	・現在は出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・家庭と連携を取り、話し合い等しながら進めている。 ・情報を共有することで共通理解をはかるようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	・今はありません。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に時間をとって説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・悩み、相談事などできる限り助言や支援を行っている。 ・送迎時に保護者の方の話には必ず耳を傾けるようにしている。 ・事業所内でも話し合い、色々な方向から助言や支援ができるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	・コロナウイルス感染症の関係で今のところ、今年も実施できていないが実施の再開を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・送迎時等に保護者から苦情があった場合は、必ず事業所に持ち帰り報告し適切に対応できるように努めている。(自分一人に対応しない)
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・ブログやお便りにて、活動の様子などを発信している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	・十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・様子をよく観察したり、話をよく聞いたりと常に心に寄り添えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	・畑でジャガイモやサツマイモ等の収穫体験をさせてもらっている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	・警報時や感染症発生時など、保護者へ一斉メールの配信を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・二ヶ月に一度実施している。また避難場所も確認している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・毎月セルフチェックを行い、意識の確認をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	・個別支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・アセスメント時にはもちろん、調理実習、買い物学習などその都度、食物アレルギーについては保護者に確認をとっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・常に職員間で共有している。